

6. 7 プレゼンテーション演習

不二東名(株)顧問

正木 勝秋

1. 演習課題

プレゼンテーションの実践能力の向上を図る。

2. 演習の方法

- (1) 各研修参加者は、あらかじめ演習の内容を考えておくこと。
- (2) プレゼンテーションの内容は自由。時間は15分間とする。
- (3) 演習は、グループごとに、それぞれのグループの代表者が15分間のプレゼンテーション実演を行い、全員でその実演内容を評価しつつ、よりよい方法を研究する。

3. 演習の進め方

- (1) 研修参加者は、参加者名簿の番号順に1~6、7~12、13~18のように順次6つのグループに分かれること。結果として、5~6人のグループが6グループ構成されることとなる。
- (2) 各グループにおいて、個別に持ち寄ったプレゼンテーションの内容を検討し、グループとしての演習テーマを決定する。
- (3) プレゼンテーションの実施者を決め、想定する対象者と人数、実施方法を午前中の海保講師の講義も参考としつつ、グループの討議により決定する。(50分間)
- (4) 各グループの実施者が、順次タイトルを紹介の上、プレゼンテーションの実演を行う。
- (5) 参加者及び講師が講評を行う。(7~8分程度)
- (6) まとめの講義を講師が行う。

4. 演習の準備

プレゼンテーションに際して使用する機器や掲示物などは、あらかじめ使用しやすいように工夫しておくこと。